

市民と議会との意見交換会

より開かれた議会へ

1月17～19日、「市民と議会との意見交換会」が天草市民センターなど市内3つの会場で開かれ、約100人が参加しました。これは市議会が、より開かれた議会に向けて市民の皆さんの意見を直接聞こうと、初めて開催したものです。同会では、まず市議会から今後制定を目的としている市議会基本条例（案）の概要の説明があり、その後意見交換を実施。市民からは、「誰もが参加しやすいふうを」「市全体のことを考えて」などの意見が出されました。



▲意見交換のようす

大地震による天草地域の孤立・津波被害を想定した訓練

いつか必ず起こりうる災害に備えて

天草町の下田北地区一帯と天草空港で1月22日、大地震による天草地域の孤立・津波被害を想定した訓練が行われ、地区住民をはじめ警察や消防、行政など約400人が参加しました。これは、災害時における関係機関の連携強化と避難手順の確認を目的に、初めて実施したものです。訓練は、地震により市で震度5強の揺れを観測し、天草灘沿岸に大津波警報が発表されたとの想定で実施。同地区では避難や住民の救出など、本番さながらの訓練が行われました。



▲リヤカーを使って救助者を運ぶ警察の機動隊員

市が老人福祉施設と協定を締結

安心・安全な避難所体制の構築に向けて

市と市内11の老人福祉施設は2月1日、災害発生時における福祉避難所の設置・運営に関する協定を結びました。この協定は、災害が起きたときに、高齢者や障がい者など通常の避難所では生活が困難な人を対象に、市の要請に応じて同施設を福祉避難所として開設し、同所の運営について市と施設が相互連携を図るといったもの。この日は、天草市民センター展示ホールで協定締結式が行われ、安田市長と各老人福祉施設の代表者が、協定書に調印しました。



▲協定書に署名する施設の代表者と安田市長

田中知子教諭が文部科学大臣優秀教員表彰を受賞

「複式学級」の授業改善に大きく寄与

宮地岳小学校の田中知子教諭が1月30日、優秀教員として文部科学大臣表彰を受けられました。田中教諭は、教諭歴30年で同校には平成21年から勤務。複式学級の効果的な指導のあり方について研究し、市内の複式学級の授業改善に大きく貢献したことが高く評価されました。田中教諭は、「子どもたちのがんばりに教えられ、また、周りの人や地域の人に支えられてのことと感謝しています。今後も心を新たにがんばります」と話していました。



▲受賞した田中知子教諭

和貴保育園「エコ・クッキング」

栖本

地球にやさしく、おいしい料理を作ろう！

2月10日、和貴保育園で同園の年長児12人とその保護者が参加して、「エコ・クッキング」が開かれました。この日は、熊本市のNPO法人「ESDキッズクラブ」の皆さんを講師に招き、園で栽培したじゃがいもやサラダタマネギを使った、西洋の煮込み料理「ポトフ」に挑戦。園児たちは、講師の手ほどきを受けながら、煮込み時間を短縮する保温袋を使うなど環境にやさしい方法で調理を実施。その後、できた料理をおいしそうにほおばっていました。



▲講師の指導を受けながら調理をする園児と保護者

城河原産「いくり酒」の試飲会

五和

美酒づくりに向けた飲み比べ

2月2日、地元産の「いくり」を使った酒の試飲会が城河原公民館で行われました。これは、城河原地域づくり振興会が、いくりの特産化に向けた取り組みの一環として開催したものです。この日は、同会の役員など20人が参加して、酒造会社で醸造された4種類のいくり酒を試飲。参加者は、きれいな赤色に染まったいくり酒の香りや味、色合いなどを真剣な表情で飲み比べていました。なお、このいくり酒は、今回の結果などをもとに、来年度に完成する予定です。



▲試飲を行う参加者

倉岳保育所節分豆まきにくまモン来園

倉岳

くまモンといっしょに「鬼はそと、福はうち！」

2月3日、倉岳保育所で行われた節分豆まきに、県の営業部長でゆるキャラ® グランプリ2011に輝いた「くまモン」が来園しました。園児たちは、2組に分かれて交互に鬼役を務めながら「鬼はそと、福はうち」と大きなかけ声で豆まきを実施。くまモンも、園が用意した鬼の飾り物をかぶり、いっしょになって楽しみました。このほか、くまモン体操を踊ったり玉入れゲームをしたりして、園児たちはくまモンとの交流に大満足の様子でした。



▲くまモンと豆まきをする園児たち

第32回天草町駅伝大会

天草

小雨が降る中、健脚を競う

2月5日、市青年団・天草支部（植本裕太支部長）主催の「第32回天草町駅伝大会」が、福連木から大江までの8区間24kmのコースで開催され、学生・一般の部に12チームが参加しました。この日は小雨が降る中、選手たちは沿道の声援を一身に受けながら、一生懸命に走りタスキをつないでいました。また、ゴールの大江漁村センターでは、大江公民館生活部の皆さんにより豚汁とおにぎりがふるまわれ、選手の労をねぎらっていました。



▲レースを占う「花の1区」がスタート！